

第2回あいづ創生市民会議 議事要旨

【日時】 2015/06/17 18:30~20:30

【場所】 会津稽古堂 1F 多目的ホール

【市民会議 参加者】 出席 31 名、欠席 11 名（※別紙）

【会津若松市 参加者】 企画調整課 佐藤課長、邊見副主幹、馬場副主幹、三浦主査、
加藤主査、小山主事

【日本経済研究所 参加者】 社会インフラ本部 鈴木、渋谷（記）

【HA2 参加者】 森本代表、宮川氏

【配付資料】

- ・ 第2回あいづ創生市民会議 次第
 - ・ 座席表／参加者名簿
 - ・ 資料1 会津若松市の現況、市民意識調査
 - ・ 資料2 第1回あいづ創生会議ポストイット意見一覧
 - ・ 資料 あいづ創生市民会議の進め方 イメージ
-

【議事】

1. 開会（佐藤課長）

2. 会津若松市の現況

① 会津若松市の現況、市民意識調査について（日本経済研究所 鈴木）

② 質疑等（参加者より）

・（資料 11 ページ「6. 土地利用」について）中心市街地のスプロール化とは何か。
⇒ 内から外に広がり中心市街地が拡大することをいう。（日本経済研究所 鈴木）

・（資料 11 ページ「6. 土地利用」について）中心市街地の歩行者が増加している
とのことだが、実感と異なる。どのようなデータから作成した資料か。
⇒ 出典は市の基本計画である。データの取り方まで把握していないが、おそらく
測定地点を決めて歩行者数をカウントしているのではないかと思料する。（日
本経済研究所 鈴木）

・（資料 11 ページ「6. 土地利用」について）会津若松市の大部分が森林・圃場が
占めている。林業と農業についても考察をお願いしたい。
⇒ 林業、農業についても今後分析していきたい。（日本経済研究所 鈴木）

・（資料 5 ページ「4. 会津若松都市圏」について）会津はひとつと考える人が多い。
会津若松都市圏ではなく会津都市圏ということでもっと広域で分析してはどう
か。
⇒ ここでは 10%の通勤・通学圏という一般的に関係性が強いといわれる圏内を
分析対象としてみた。事項に応じてより広い範囲で分析をすることも検討する。

3. グループワーク（進行役：日本経済研究所 鈴木）

① 第1部 まちの良いところ

- ・自己紹介（前回欠席の方）
- ・まち（会津若松）の良いところをポストイットに記入（作業）
- ・記入した内容を各自グループ内で発表
- ・グルーピングしてキーワードを設定

② 第2部 ○○にまち（会津若松）の良いところをアピールする！

- ・進行役がランダムにアピール対象を指定
- ・第1部でグルーピングした内容を用紙に記載
- ・各自アピール手法についてポストイットに記入
- ・グループ内での発表
- ・発表内容の整理/取りまとめ

③ 各分科会発表（参加者）、コメント（進行役）

i ふくし分科会（アピール対象：大阪のおばちゃん）

- ・主なキーワードは、人柄、観光、施設の充実、自然環境、産業。
- ・大阪のおばちゃんは、お得に弱い。多くの商店をめぐるイメージ
- ・正しい情報を伝えることが大切
- ・会津の男らしさでPR。無料クーポン付情報誌作成等。

ii ひとつづくり分科会（アピール対象：小学校高学年）

- ・主なキーワードは、観光、歴史伝統、食べ物、自然、災害、人柄。
- ・関東圏で会津に修学旅行に来たことのない小学校に営業をする。
- ・小学校高学年にわかりやすいよう紙芝居、おきあがりこぼしなどで興味をもってもらおう。
- ・1泊、2泊の体験ツアー。地球儀、空気・土・水、歴史年表などの利用。

iii しごとづくり分科会（アピール対象：地元の高校生）

- ・主なキーワードは、食、観光、生活基盤。
- ・高校のLHR（ロングホームルーム）の活用。菜園で育てたものを食べる等。
- ・日光などの他の観光地に行って地元と比較
- ・会津まつりの日は休講にする。白虎隊剣舞

iv きょうどう分科会（アピール対象：欧米系外国人）

- ・主なキーワードは、安心、食、環境、景観、人柄、アーケードのある商店街。
- ・文字、映像等でのPR。在外邦人の活用
- ・来訪した外国人にさらに情報発信してもらうことが重要
- ・人とのふれあい、人柄を知ってもらうためにゲストハウス、シェアハウスに宿泊

v まちづくり分科会（アピール対象：東京のセレブ主婦）

- ・主なキーワードは、食、自然、歴史
- ・クイーンエリザベスよりも会津のプレミアムツアー。あなただけの、プレミ

アムな一年を通じた、オーダーメイドのツアー（500万円）

- ・ 四季を通じ、食、歴史等を体験。酒米種まき、酒づくり、スノーダンプ雪かきなど
- ・ 仕込んだ酒が飲めるのが来年になるので翌年も来訪してもらい、最終的に半定住を促す。

- ⇒ 各グループに市職員が入り、進行支援を実施した。
- ⇒ まちづくり分科会は欠席者が多かったため、日本経済研究所職員1名が参加した。
- ⇒ 第1部で出た会津の良いところをアピールする手法をグループごとにとりまとめ、各グループの代表が、全体に向けて発表した。
- ⇒ 会津の良いところとして、安心、食、人柄、商店街、観光、生活基盤、歴史、医療福祉、自然、環境、景観、などが挙げられた。

④ 全体講評（進行役）

- ⇒ 進行役から、これらの良いところを踏まえ総合計画につなげていくことを示唆

4. 事務連絡（佐藤課長）

- ⇒ 今後の市民会議の進め方イメージについて説明（佐藤課長）

5. 閉会（佐藤課長）

(別紙)

【市民会議 参加者】

分科会名	参加者
ふくし	葛岡さん、栗城さん、馬場さん、宗像さん、吉原さん、渡部さん
ひとづくり	荒川さん、君さん、高林さん、桎屋さん、山口さん、遊佐さん、湯田さん、渡部さん
しごとづくり	岩渕さん、佐々木さん、鈴木さん、関さん、室井さん、山内さん
まちづくり	小椋さん、栗城さん、佐藤さん、福井さん
きょうどう	阿久津さん、岡野さん、小山さん、鈴木さん、高橋さん、永田さん、中村さん
出席者合計	31名

分科会名	欠席者
ふくし	大竹さん、渡邊さん
ひとづくり	長谷川さん
しごとづくり	大須賀さん、古川さん
まちづくり	折笠さん、高階さん、高橋さん、馬場さん、福西さん
きょうどう	松嶋さん
欠席者合計	11名